

もとす教道研会報 第19号 平成27年7月13日

発行所:岐阜もとすモラロジー事務所
Tel/Fax 058-324-7756

総会・講演会を開きました!

平成27年6月20日(土)10時、北方町立北方西小学校ひまわり教室において、もとす教育者道德研究会総会並びに講演会を開くことができました。平成27年度の実質的な活動のスタートです。

当日は、22名の方がご参加くださいました。ご多用の中にあって参加していただきました皆様、誠に有難うございました。

総会の進行を広井副会長、役員紹介・挨拶を森山会長、会務報告等を吉田書記、監査報告を神原監査が行い、無事総会が終了しました。



左から順に広井副会長、森山会長、吉田書記、神原監査

森山会長のあいさつ要旨。「もとす教育者道德研究会(教道研)は、瑞穂市・本巣市・北方町教育委員会はじめ多くの関係者に支えられ、今年で7年目を迎えることが出来ました。昨年度は本田小学校の先生方の全国発信のご活躍が心に残ります。『感謝の心・思いやりの心・自立の心』を大切に日々誠実な活動を続けておられるモラロジーの皆さんの生き方に習い、小生退職5年目を頑張ろうと思います。この夏8月11日には、第52回教育者研究会本巣会場の運営を本会が担当することになります。皆さんに喜んでいただけるような講師の先生、実践発表の先生をお願い出来ました。参加呼びかけをお願いします。

平成27年度 もとす教育者道德研究会役員・理事

名誉顧問	所 美千敏	岐阜もとすモラロジー事務所参与
顧問	林 明夫	北方町教育委員長・本巣市教育センター
会長	森山 政紀	北方町立図書館長
副会長	村山 和子	瑞穂市立本田小学校教頭
	志甫 庄司	本巣市立根尾小学校教頭
	広井 直美	北方町立北方西小学校教頭
	神谷 肇	岐阜もとすモラロジー事務所事務局長
書記	吉田 光宏	北方町立北方西小学校教諭
会計	北村あずさ	北方町立北方南小学校教諭
監査	大野 美紀	本巣市立本巣中学校教諭
	神原 重典	岐阜もとすモラロジー事務所顧問
理事	伊藤 清美	瑞穂市立本田小学校長
	森 健治	岐阜もとすモラロジー事務所教育者担当

※今年度、理事枠の本巣市・北方町道德部会顧問は空席

平成27年度 今後の主な活動計画

8月11日(火)	第52回岐阜県教育者研究大会岐阜地区本巣会場
13:00	本巣市岐阜もとすモラロジー事務所
他の県下3会場	↑事前打合せ会7月27日(月)18時
※6日(木)	13:00 大垣市スイトピアセンター学習館
※10日(月)	13:00 可児市総合センター
※12日(水)	13:00 瑞浪市総合文化センター
12月20日(日)	役員・理事会 17:30 北方町立図書館
2月27日(土)	実践研究会 10:30 北方西小学校
3月14日(月)	役員・理事会 18:30 北方町立図書館

講演：親即恩

講演者：中村 修一氏

サンポーコーポレーション代表取締役
岐阜県モラロジー協議会会長

「サンポー」コーポレーションの意味が名刺裏に書いてありました。

「三方善」にして「自己、相手、第三者が幸福になること」とあります。

中村氏の愛情こもる経営哲学を、直に学ぶ良い機会となりました。

「私は、ノーベル賞をいただいた中村修二の兄です。」のユーモアあふれるご挨拶で始まりましたお話を、概要ですがまとめました。

親の深い愛に目覚める

生家は今の西岐阜駅近くで繊維業を営んでおりました。5人兄弟（姉妹）の末っ子です。修一の修は「これで修めだ」の意味だったとも聞きました。愛情豊かに育ったとは思えません。社会人として就職したのを期に、中村家へ養子に出されました。早い時期に父親同士が決めていたらしいです。釈然としない思いもありましたが、親や就職した会社がモラロジーを深く学んでいる環境だったために道はずれることなく生きることができました。それぞれの親から愛情をいただけるその環境を素直に感謝できるようになりました。

「親は命をくださった。親はそのことだけでもう有難い存在である。たくさん親孝行しなさいよ。」私の生活信条になりました。

儲けるだけでなく、喜んでいただける会社をつくる

繊維関係の仕事で「ダスキン」との出合いがありました。「これ以上ない高級繊維で科学雑巾をつくる」発想は驚きでした。同時に、「祈りの経営」は心に響きました。その経営学を学んだ延長線上で「ミスター・ドーナッツ」を岐阜県下で任される会社になりました。



講演中の中村 修一氏

「知恵は人に聞け、金を出せば買える。しかし徳は、自分がやる以外にないから、自分が徳を積み。」の言葉を大切に実践しました。道経一体の経営です。「親孝行な従業員がいる会社は伸びる。」実感です。

親の恩への気づき、そして実践してみる

親に感謝する日を呼びかけます。食事券とか商品券とかを考えて、プレゼントするようです。「親の喜ぶ顔が見られて良かったです。」

「久しぶりに親との会話が弾みました。」中には「記念日でなくとも親孝行をしたいです。」と予想以上の感想も出て、嬉しくなります。

初任給をもらった社員に、「悪いけど1万円抜くよ。メッセージを書いて貰うよ。」と言います。それを会社から送るのです。「18年間育ててくれて有難う。照れくさくて言えなかったけど、いつも感謝しています。」等のメッセージ付きです。親子の絆が強くなります。

講演終了後、本田小学校・伊藤校長（理事）からお礼の言葉です。「学生時代の忠節店、子ども連れで市橋店、お迎えのお礼にJR岐阜店、私の人生は常にミスター・ドーナッツがありました。感謝しています。『従業員が幸福になるように働きかけるのが経営者の使命だ。』とのお言葉がありました。共感するとともに、私も学校経営をする立場で使命感をもって頑張ろうと思います。子ども、親、職員、地域に対する責任をもち、今後も人づくり・集団づくりに励んで参ります。」



会場風景（伊藤理事が感想とお礼を述べているところ）

末尾に、昼食会では講師料で参加者全員がご馳走になりましたことを付け加え、中村修一様に深く感謝申し上げます。【構成・森山】